

活動組織の名称 ※ぶりがなをぶれずに！	たくま だ かんさとうほせもいしいんかい 宅間田環境保全委員会					
所在地	福岡県八女市宅間田地内					
取組開始年度	共同活動	平成19年度	向上活動	—		
協定の対象となる資源						
農用地	地目	田 (a)	畑 (a)	計 (a)		
	協定農用地面積	2,099	1,867	3,966		
	対象農用地面積	1,464	1,432	2,896		
	開水路 (km)	バイブルайн (km)	農道 (km)	ため池 (箇所)		
農業用施設	4.0	—	4.7	1		
	設定したテーマ	実践活動項目		(取組内容を具体的に)		
	①生態系保全	放流・植栽を通じた在来生物の育成	・鯉の放流			
	②水質保全					
農村環境向上活動 (H23まで) として実施した取組 ・設定したテーマに〇印	③景観形成・生活環境保全	景観形成のための施設への植栽等	・農道法面を活用した景観作物の植栽			
	④水田貯留機能増進 ・地下水かん養					
	⑤資源循環					
地域の状況 ・地区的位置 ・資源保全に係る過去と現在の違い ・地域資源と住民との関わりなど	・宅間田地区は、八女市の北部に位置し、普通作（米・麦・大豆）の営農が盛んな農業地域である。 ・本地区では從来、個人管理や農業者組合の水利管理や町内会の道路愛護活動が地域の資源保全の主な活動であったが、活動を通じて農業者と非農業者が連携し、集落及び周辺農地の保全の維持・向上が図られた。					
活動や取組の内容 ・地区的目標と方向 ・活動の概要	・農業者・町内会・子供会・老人会・婦人会が一体となって、農業生産基盤の維持と地域の生活環境を保全する。 ・地域内の施設については、きめ細やかな維持管理を行い、地域の資源として次世代に引き継ぐ。					
成果・課題 ・成果 ・今後の課題など	・水路・道路の草刈り、ゴミ拾い等が実施され、地域環境の美化が図られた。 ・景観形成作物を植栽することで、地域住民間の交流、癒しの場の提供ができた。 ・農業者の高齢化や後継者の確保が課題となっている。					
取組を実施するにあたってのキーワード（5つ以内）	・環境保全と美化活動・世代間の交流					
将来の夢・展望	・将来の担い手を育成するため、子供が参加出来る農業体験や環境保全活動を実施し、農業や環境の大切さと自然に親しむ心を育てていく。 ・地域住民の世代を超えた交流を図り、この地域に住んで良かったと思うような取り組みを行い、次世代への橋渡しとなる活動を定着させたい。					
県内位置図	主な活動状況の写真					
						
(写真について 簡単な説明)	水路の泥上げ	畦畔・農用地等の草刈り	鯉の放流			